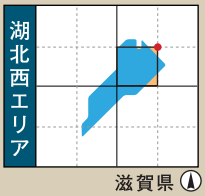
史跡
国指定

古保利古墳群

こ　ぼ　り　こ　ふん　ぐん

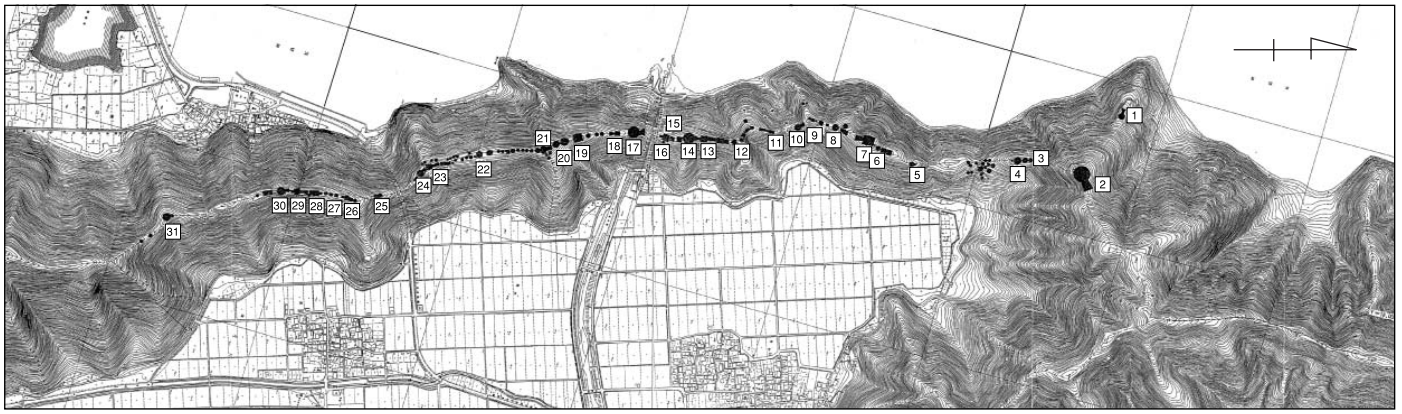
高月町西野町ほか　平成15年8月27日指定



古保利古墳群は、琵琶湖の最奥、塩津湾を見下ろす丘陵上に南北3kmにわたり132基もの古墳が一列に並ぶ、全国屈指の前期古墳を中心とした古墳群です。その立地から、近畿と北陸、東海を結ぶ水運の要衝を掌握した王達の墓群と考えられます。古墳からは、奥琵琶湖を行き来する船を一望することができます。

当時のできごと

248年	卑弥呼の墓を造る
3世紀末 ： 4世紀末	奈良盆地に 巨大古墳群出現
391年	倭が朝鮮で高句麗と闘う



古保利古墳群について

古墳群は、塩津湾を見下ろす丘陵上に一列に並び築造されています。陸からは見えず、琵琶湖側からだけ見ることのできる古墳が多数あることから、琵琶湖を強く意識した古墳群であることがわかります。古墳時代後期の群集墳が一部にありますが、古墳のほとんどは3世紀中頃から4世紀にかけて（古墳時代前期）造られ、さらに、前方後円墳が8基、前方後方墳が8基、円墳が79基、方墳が37基あり、基本的な古墳の形が全て含まれています。古保利古墳群は、立地、構成、年代から、日本を代表する古墳時代前期の古墳群として重要です。



古保利古墳群全景（北西、葛籠尾崎より）

古保利古墳群分布図

1. 深谷古墳　（A-1）
2. 西野山古墳（A-2）
3. A-3号墳
4. 巳ノ脇古墳（A-5）
5. ヘソ岩古墳（B-1）
6. B-4号墳
7. 小松古墳（B-6）
8. 木戸古墳（B-10）
9. B-12号墳
10. 木戸越古墳（B-16）
11. C-1号墳
12. 西山古墳（C－10）
13. 大浦古墳（C-16）
14. 野瀬古墳（C-17）
15. C-20号墳
16. C-22号墳
17. 寺ヶ浦古墳（D-1）
18. 臼ヶ谷古墳（D-2）
19. 堂山古墳（D-6）
20. 堂谷古墳（D-7）
21. 南山古墳（D-10）
22. 井ノ浦古墳（D-24）
23. 北谷古墳（D-41）
24. 黒見古墳（D-42）
25. 上大谷古墳（E-1）
26. 岩屋古墳（E-5）
27. 蜂谷古墳（E-7）
28. 熊野山古墳（E-9）
29. 屋ヶ谷古墳（E-14）
30. 大谷古墳（E-15）
31. 旭山古墳（F-1）

最古級の前方後方墳（小松古墳）

全長が約60mある古墳群中最大の前方後方墳です。後方部で行った発掘調査では、銅鏡、銅鏃（どうぞく）、鉄鏃や多数の土器類が出土しました。銅鏡は中国製の内行花文鏡と方画規矩鏡で、わざと壊された状態で出土しました。土器類もわざと壊されており、古墳の祭りの様子をうかがうことができます。なお、出土した土器を復元すると、底に穴をあけて造られたものが多数あることがわかりました。古墳の祭りのために造られた土器と考えられます。

小松古墳の造られた年代は、土器の年代から3世紀の中頃と考えられ、最古の前方後円墳として有名な奈良県の箸墓古墳と同じ頃の古墳となり、前方後方墳としては最古級のものとなります。

湖上交通と古墳

琵琶湖は、近代に至り鉄道、自動車による物資の運搬が一般化するまでは、近畿と北陸、中京を結ぶ流通の大動脈で、様々な文物、情報が行き交いました。そして、この交通網を押さえることは大きな力と富をもたらしたと考えられます。

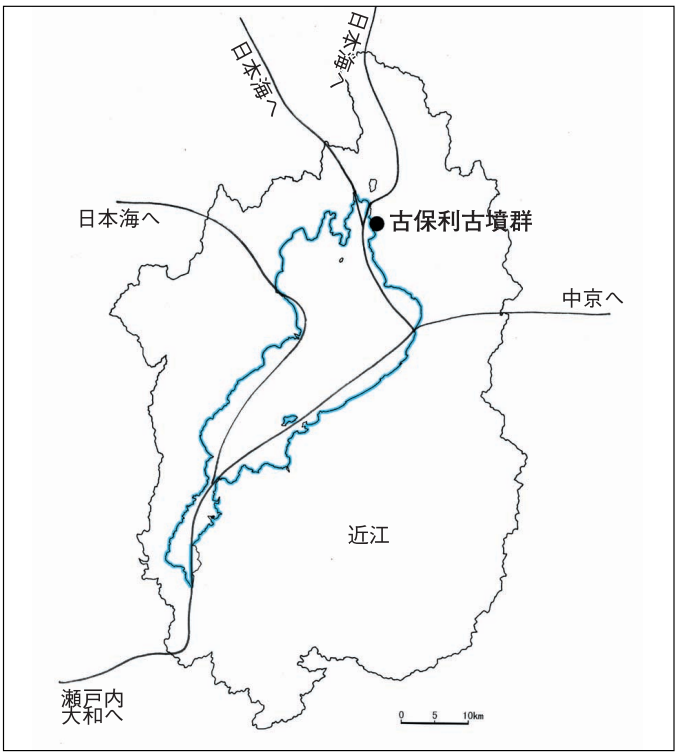
古保利古墳群の古墳には、深谷古墳や西野山古墳のように、琵琶湖からしか見えない古墳がたくさん含まれます。これは、この古墳群に葬られた人たちが琵琶湖に大きな関わりを持っていたことを示しています。また、この古墳群以外にも、県内の琵琶湖を見おろす場所には、若宮山古墳、瓢箪山古墳、荒神山古墳、膳所茶臼山古墳、和邇大塚古墳のように多くの前方後円墳が造られています。



小松古墳出土　方格規矩鏡



木戸古墳　くびれ部葺石（東より）



湖上交通と古保利古墳群の位置

関連する文化財

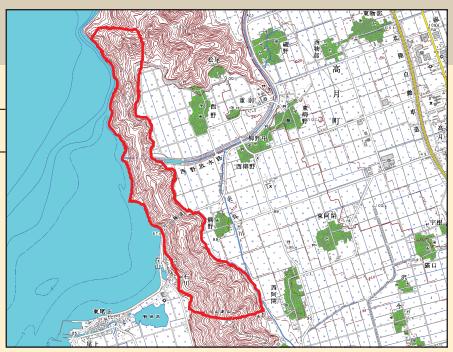
姫塚古墳（高月町）	学習シートNo.064
若宮山古墳（湖北町）	学習シートNo.063
大森古墳（高月町）	最古級の前方後方墳
熊野本古墳群（新旭町）	湖西最大の古墳群。最古級の前方後方墳である熊野本6号墳を含む
神郷亀塚古墳（能登川町）	学習シートNo.075

もっと深く知りたい

高月町教育委員会　☎0749-85-3111　伊香郡高月町渡岸寺160

安土城考古博物館　☎0748-46-2424　蒲生郡安土町下豊浦6678

古保利古墳群へのアクセス　北陸自動車道　木之本インター



【参考文献】〔古保利古墳群発掘調査報告書〕高月町教育委員会　〔近江の遺跡〕（財）滋賀県文化財保護協会

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月